

平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カッシーナ・イクスシー

コード番号 2777 URL <http://www.cassina-ixc.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 森 康洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員管理本部長 (氏名) 小林 要介

TEL 03-6439-1360

四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	2,230	2.5	9	△80.0	2	△94.4	△29	—
27年12月期第1四半期	2,175	—	48	—	52	—	54	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △29百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△7.74	—
27年12月期第1四半期	14.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	7,773	3,962	51.0
27年12月期	7,591	4,105	54.1

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 3,962百万円 27年12月期 4,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	—	—	30.00	30.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,030	12.5	200	153.8	170	99.5	90	78.6	23.72
通期	10,500	4.7	700	49.1	640	32.3	460	11.5	121.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	4,091,100 株	27年12月期	4,091,100 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	296,848 株	27年12月期	296,848 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	3,794,252 株	27年12月期1Q	3,794,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による積極的な金融政策を背景に、企業業績や雇用環境はゆるやかに改善した一方で、米国の金融政策、資源価格の下落や中国経済の減速により、株価や外国為替レートが大きく変動したことなどから、個人消費や住宅投資は低調に推移しました。

当社グループが属する家具インテリア業界におきましては、顧客が望むオフィス空間や住空間が多様化しており、単に商品のデザイン、品質や機能を訴求するだけでは購入いただくことは難しく、また特に法人マーケットにおいては価格競争も激化するなど、経営環境は大きく変化するとともに複雑化しております。

このような経営環境のもと当社グループは、顧客からの期待の一步先を行く品揃えとサービスを実現するとともに、持続的に収益力を強化するため時代、顧客の変化に合わせて業務プロセスの見直しを図っております。

カッシーナ・イクスシーでは、直営店において季節、和雑貨やフードなどをテーマとしたイベントの開催や、商品展示を頻繁に変化させることで様々な空間提案を行ってまいりました。また、法人営業においてはオフィス、商業ビルやホテルなどの建設に伴う家具インテリア需要に対し、的確な提案を行っております。

コンランショップ・ジャパンにおいては、コンランショップならではの世界感を表現する新商品を導入するとともに、生活を豊かに、楽しく暮らしていくための空間づくりを店舗で表現してまいりました。平成28年2月には伊勢丹新宿本店にコーナー出店することによってブランドの訴求を行うとともに、新宿本店への集客を図りました。

主にコンランショップ・ジャパンにおいて投入した新新材の利益率が高くなったことにより、売上総利益率は改善いたしました。販売費及び一般管理費が増加した主な要因は、カッシーナ・イクスシーにおいて新作展示会の開催や商品カタログ製作に伴い販売促進費が増加したこと等によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,230百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益9百万円(前年同四半期比80.0%減)、経常利益2百万円(前年同四半期比94.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失29百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて203百万円増加し、5,682百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が221百万円、商品及び製品が210百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が190百万円、繰延税金資産が6百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少し、2,090百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物(純額)が10百万円、無形固定資産が12百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ181百万円増加し、7,773百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて77百万円増加し、2,317百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金が118百万円増加した一方で、1年内償還予定の社債が20百万円、賞与引当金が164百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べて247百万円増加し、1,492百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が281百万円増加した一方で、社債が30百万円減少したことによるものです。

この結果、負債は前連結会計年度末に比べて325百万円増加し、3,810百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて143百万円減少し、3,962百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期の業績予想につきましては、平成28年2月12日発表の「平成27年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、  
当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,496,344	1,717,691
受取手形及び売掛金	964,373	773,872
商品及び製品	2,090,926	2,300,967
仕掛品	28,669	32,637
原材料及び貯蔵品	258,504	273,766
繰延税金資産	175,831	169,830
その他	464,258	413,307
流動資産合計	5,478,908	5,682,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	701,587	690,884
その他(純額)	440,291	445,566
有形固定資産合計	1,141,879	1,136,450
無形固定資産	142,286	129,402
投資その他の資産		
差入保証金	739,831	740,338
その他	91,429	87,894
貸倒引当金	△3,158	△3,158
投資その他の資産合計	828,103	825,074
固定資産合計	2,112,269	2,090,928
資産合計	7,591,178	7,773,002
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	557,903	602,924
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	330,728	449,652
1年内償還予定の社債	80,000	60,000
未払法人税等	4,097	29,546
賞与引当金	275,405	111,090
ポイント引当金	9,118	8,335
その他	833,410	906,374
流動負債合計	2,240,663	2,317,922
固定負債		
社債	60,000	30,000
長期借入金	862,838	1,144,014
厚生年金基金解散損失引当金	32,956	32,956
退職給付に係る負債	16,316	16,316
資産除去債務	58,348	58,596
その他	214,266	210,614
固定負債合計	1,244,725	1,492,496
負債合計	3,485,389	3,810,419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	741,224	741,224
利益剰余金	3,374,148	3,230,942
自己株式	△109,583	△109,583
株主資本合計	4,105,788	3,962,583
純資産合計	4,105,788	3,962,583
負債純資産合計	7,591,178	7,773,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	2,175,446	2,230,206
売上原価	1,152,822	1,167,535
売上総利益	1,022,624	1,062,670
販売費及び一般管理費	974,055	1,052,976
営業利益	48,569	9,694
営業外収益		
受取利息	95	97
為替差益	6,808	—
買掛金償却益	—	300
その他	726	731
営業外収益合計	7,630	1,128
営業外費用		
支払利息	2,862	2,994
為替差損	—	3,880
その他	588	989
営業外費用合計	3,450	7,865
経常利益	52,748	2,957
特別利益		
固定資産売却益	812	—
特別利益合計	812	—
特別損失		
倉庫移転費用	3,200	—
固定資産除却損	6	427
特別損失合計	3,206	427
税金等調整前四半期純利益	50,355	2,530
法人税等	△4,636	31,908
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,992	△29,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	54,992	△29,377

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,992	△29,377
四半期包括利益	54,992	△29,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,992	△29,377
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは家具インテリア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。